

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

② 施設・事業所情報

名称：太陽の子磯子第二保育園	種別：認可園	
代表者氏名：田口 みゆき	定員（利用人数）： 48（50）名	
所在地：〒235-0023 横浜市磯子区森2-4-8		
TEL：045-367-9092	ホームページ：https://www.kidslife-nursery.com/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2017年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：		
職員数	常勤職員： 13名 非常勤職員 4名	
専門職員	（専門職の名称） 名 栄養士 3名	
	保育士 12名	
	看護師 1名	
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室4（1F 0歳児室・2F 1歳児2歳児室・3Fワンフロアを3,4,5歳児で使用）・事務室・調理室・相談室	バリアフリースイレ・乳児トイレ・幼児トイレ 園庭（シャワーあり）・シャワー室（3F）・沐浴室（1F）

③ 理念・基本方針

保育理念「つながり保育」

「心が動く体験」と「豊かな対話」で、つながりを創造する

1. 子どもとつながる：「主人公」になる
2. 保護者とつながる：「共鳴」する
3. 地域とつながる：「市民」になる
4. スタッフ同士つながる：「チーム」になる

太陽の子保育園

保育方針

のびのび すくすく にこにこ

- ・安心できる人間関係の中で、多様性を尊重します
- ・心の動く体験と深い対話で学びのプロセスを大切にします
- ・子どもの「やりたい」から始まる保育環境をデザインします
- ・学び続け、専門性を発揮するチーム保育を行います

保育目標

- ・自信をもって個性を発揮することも
- ・たくさんの“好き”を見つけチャレンジすることも
- ・“違う”を楽しみ友達とつながることも
- ・たくさんの“好き”を見つけチャレンジすることも
- ・“違う”を楽しみ友達とつながることも

④ 施設・事業所の特徴的な取組

<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢での取り組み 朝夕の合同保育時間や複数のクラスで散歩やリズム遊びなど日常的に異年齢同士の交流あり ・絵本の取り組み 絵本巡回図書館 絵本紹介 絵本給食 ・食育の取り組み プランターでの野菜づくりや収穫体験 クッキング 絵本給食 行事食メニュー 防災食を知る 食具の使い方 世界の料理 ・英語の取り組み ふぁんぱりん 月2回 0～5歳児対象 外国人スタッフによる遊びながら英語に触れる ・おそうじの取り組み おそうじチャレンジとしておそうじ本舗のスタッフのゴミ拾いの指導 雑巾かけ

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年5月31日（契約日） ～ 2023年1月20日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（ 年度）

⑥総評

<p>◇特長や今後期待される点</p> <p>特長 一人ひとりの子どもの状態に応じた保育に努めている 今年度より幼児クラスでは、子どもたちが自ら考え行動できるようなることをねらいとし、給食開始では全員揃って開始ではなく時間を決めて、その時間内で自分が決めた時に食べ始めるという流れに変える取り組みをはじめている。乳児においても月齢や発達を考慮し、子どもの生活リズムに合わせて食事や活動の時間差をつけて対応できるようにするなど、子ども一人ひとりを尊重し状況に応じた保育を行うことに力を入れている。</p> <p>近隣園の待機児童数などについて情報収集をし分析や活用に取り組んでいる 区で公表される園別の待機児童数から、ホームページなどでも地域の園に関する情報収集を行い、待機数の多い園の取り組みなどを確認することで、その理由について把握し分析を行うようにしている。また、そこから気づいた点などがあれば職員にも共有し、参考にしたり取り入れたりするなど、自園の取り組みに活かしたり振り返りに役立つように活用している。</p> <p>職員による園の評価を行い園の保育の質向上に向けて取り組んでいる 園内研修として職員の働き方改革、業務改善をテーマにあげ、職員によるアンケートを行い全職員が忌憚のない意見を出し合った。職員一人ひとりの意見を把握することで具体的な改善策が得られており、アンケート結果から毎月1項目ずつ振り返りを行なうなど継続的に話し合いの機会も持ちながら、保育の質向上につなげられるよう取り組んでいる。</p> <p>今後期待される点 子どもが落ち着ける空間づくりについて検討を重ねている 子ども主体の保育について学び合い、職員が理解を深めながら取り組んでおり、子どもたちの姿に変化が見られていることが報告されている。保育室の設定においても遊びが発展するよう職員間で話し合い工夫に取り組んでいるが、一人ひとりがくつろぎ</p>

落ち着ける空間づくりに向けてはさらに検討を重ね継続的な課題としている。

事業計画や事業報告などの情報を保護者に向けても開示することが期待される

事業計画や経営に関する情報は職員及び保護者に向けて開示されていないことを課題としている。職員には決定事項とその背景や、経緯などについて伝え理解が得られるよう取り組みを始めており、今後は保護者にむけても情報を開示することが期待される。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

自園の振り返りを図ることが出来、改めて伸ばすべき強みや克服すべき弱み等、新たな課題に気づくことが出来た。また、客観的にも自園がどう映っているのか理解、把握することが出来る機会になったため、今後の園運営やスタッフの研鑽に活かしていきたいと感じた。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり